

共和町の年表



1854年 安政元年

1857年 安政 4年 徳川幕府が幌似、発足に御手作場を開設

1868年 明治元年

1880年 明治 15年 御鋒内町から分かれ老古美村・幌似村・小沢村、堀株村から分かれて発足村・梨野舞納村が設置される
 1897年 30年 前田村外2カ村戸長役場設置
 1901年 34年 小沢村外1カ村戸長役場設置
 小沢郵便局開局(国富市街)
 1904年 37年 北海道鉄道開通、小沢駅開業
 岩内・小沢間馬車鉄道開業
 1905年 38年 小沢郵便局開局(小沢市街)
 1906年 39年 前田村、発足村で2級町村制を施行
 1908年 41年 国富鉱山銅製錬所建設
 1909年 42年 小沢村で2級町村制を施行
 前田、発足郵便局開局

1912年 大正元年

1912年 大正 元年 岩内線開通、前田駅開業
 1913年 2年 国富駅開業
 1919年 8年 幌似駅開業
 1923年 12年 前田村、発足村で1級町村制を施行

1926年 昭和元年

1935年 昭和 10年 国富鉱山を住友本社が買収
 小沢村医院落成
 1948年 23年 旧3村の農業会を廃止、3農業協同組合設立
 1951年 26年 岩内高等学校前田分校、小沢分校設置
 1953年 28年 前田村に有線放送開設
 1954年 29年 発足村に有線放送開設
 1955年 30年 小沢村、前田村、発足村の3か村が大同団結、新村共和村誕生
 「共和村建設計画」5カ年計画(昭和30年度～34年度)
 1956年 31年 広報きょうわ発行開始
 第1回村民運動会 国富小学校で実施
 農村振興協議会設立
 新庁舎落成式挙行 延970㎡、建設費856万円
 村章の制定 当選者 細田豊美氏
 1957年 32年 小沢有線放送開局
 共和高等学校の設置(前田、小沢両高校を統合)
 1958年 33年 有線放送全村を統合、村営となる
 国民健康保険事業を開始
 1959年 34年 共和村森林組合設立(前身は昭和16年設立の前田村森林組合)
 1960年 35年 共和消防団設立(前田、発足、小沢消防団を統合)
 国民年金事業の事務取扱開始
 合併5周年記念式挙行
 共和村史発行
 1961年 36年 集中豪雨災害発生(被害額6億1千4百万円)
 1962年 37年 国富地区簡易水道事業(第1簡水)給水開始、給水人口1,100人
 国鉄岩内線SLに代わり、ディーゼルカー運行開始
 農業共済事業を公営化
 集中豪雨により再び大災害発生(被害額6億7千5百万円)
 国道5号福穂トンネル開通(延長1,220m)
 1963年 38年 らいでんスイカ初出荷
 村南側の山系が「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定される
 西前田駅が開駅
 1964年 39年 小沢、前田、発足の土地改良区が合併し「共和土地改良区」が誕生
 東京オリンピック聖火リレーで161名の若人が参加
 1965年 40年 「共和村第2次振興建設計画」6カ年計画(昭和40年度～45年度)
 水沢貯水池完成
 合併10周年、開基100周年記念式挙行

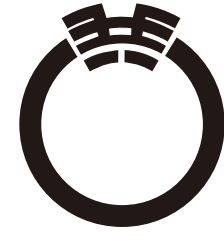
1966年 昭和 41年 小沢地区簡易水道事業(第2簡水)給水開始(給水人口950人)
 1968年 43年 共和高等学校を共和農業高等学校に改称
 農村集団自動電話892基開通(前田、発足地区)
 共和簡易郵便局開局
 共和村体育館完成
 1969年 44年 小沢地区農村集団電話開通。これにより前田、発足地区全地域
 にわたり通話可能となり農集電話加入は1,111台
 本道初の原子力発電所建設地、柏木地区に決定
 青少年会館完成。体育館と併せ共和村総合住民センターと総称する
 共和村有線放送の廃止。12年間住民に親しまれた放送にピリオド
 小沢地区に国民保養センター「ワイス荘」開荘
 1970年 45年 「第3次共和町振興建設計画」10カ年計画(昭和46年度～55年度)
 町制施行(字名改正)
 町制施行及び合併15周年記念式挙行
 1972年 47年 老人医療無料化の実施(70歳以上)
 1973年 48年 町立幼稚園、母と子の家を仮園舎として開園
 1974年 49年 第1号町民プールが宮丘地区に完成
 ニセコ・神仙沼自然休養林オープン
 1975年 50年 共和中学校(5校統合)開校式挙行
 第2(前田)、第3(小沢)町民プール完成
 第3簡易水道事業(国富～梨野舞納地区)給水開始(給水人口2,336人)
 共和町仮設郷土館開館(旧前田中学校跡)
 町民の歌の制定(作詞:若佐博、作曲:上元芳男)
 共和町に初の郷土芸能「豊稔太鼓」が誕生
 合併20周年、町制施行5周年記念式挙行
 1976年 51年 全町の電話自動化完成(加入台数2,146台)
 共和農業高等学校、全日制普通科に転換
 町内で4つ目のプール(中央プール)が中学校裏に完成
 1977年 52年 名誉町民に山本精一前町長に決定
 1978年 53年 「第4次振興建設計画」10カ年計画(昭和53年度～63年度)
 共和高等学校道立移管なる
 本町初の歯科診療所が開設される
 共和町スキー場ナイター設備、ロープウェイ等施設整備される
 岩内地方じん芥処理組合、ゴミ処理場操業開始
 1979年 54年 共和・泊地区原子力発電所立地点変更を承認
 共和町商工会設立
 共和町町民憲章を制定
 オリエンテーリングコース設置
 1980年 55年 国営双葉土地改良事業の共和導水路の工事始まる
 1981年 56年 共和幼稚園、中央保育所オープン
 農村情報無線(防災行政無線)放送開始(876戸)
 第1回産業まつり開催
 防災行政無線施設完成(全戸、屋外子局8局)
 1982年 57年 東陽小学校(6校統合)開校
 共和音頭誕生
 60年ぶりの干ばつにより農作物に多大な被害
 1984年 59年 西陵(2校統合)・北辰(3校統合)小学校同時開校
 1985年 60年 国鉄岩内線廃止、73年間の歴史に幕
 合併30周年、町制施行15周年記念式を挙行
 町木(イチイ)・町花(ミツガシワ)制定
 1986年 61年 北海道原子力環境センターがオープン、泊原発周辺を総合監視
 民間で初めての金融機関、北海信用金庫共和支店オープン
 1987年 62年 はまなす幼児センターオープン
 旧小沢小跡に地熱利用施設「老人福祉センター」オープン
 1988年 63年 神仙沼自然休養林休憩所オープン
 老古美の発美地区に「発美公園」が開園
 旧幌似駅跡に「幌似鉄道記念公園」が開園

1989年 平成元年

1989年 平成 元年 「第5次振興建設計画(新総合計画)」10カ年計画
 (平成元年度～10年度)
 ふるさと創生人材育成事業(国内研修)スタート
 発足診療所・共和整骨院新築

1990年 平成 2年 役場・消防支署新庁舎完成
 共和高等学校創立40周年を迎え、校舎全面改築工事完了
 ふるさと創生人材育成事業(海外研修)スタート
 商工会館完成
 1991年 3年 第1号長寿者(百歳)褒賞が中谷マサさんに贈られる
 社会福祉法人共和町社会福祉協議会設立
 西村計雄画伯、2人目の名誉町民に決定
 役場庁舎等総合落成式(町民会館・商工会館・野球場・
 スポーツと憩いの広場・庁舎周辺の環境整備)挙行
 小沢・梨野舞納体育館完成
 1992年 4年 独居老人宅に緊急連絡用電話設置(あんしん電話)
 ふるさと共和会が、札幌・東京で設立
 1993年 5年 共和町農業者年金協議会設立
 道道岩内小沢線が国道276号に昇格
 エキノコックス本町でも確認
 北海道南西沖地震により町内でも被害発生
 上屋付き中央プール完成
 異常気象対策本部設置
 ふれあいセンターオープン
 1994年 6年 かかし古里館オープン
 農業開発センター開所
 河川敷パークゴルフ場(リバーコース)オープン
 国営共和ダム築堤完成し、試験湛水始まる
 第4簡易水道事業成(宮丘、発足、梨野舞納地区の一部)
 給水開始(給水人口1,700人)
 1995年 7年 秋島政利氏(元町議会議長)3人目の名誉町民に決定
 合併40周年・町制施行25周年記念式挙行
 1996年 8年 在宅福祉の拠点となるいきいきセンター
 「デイサービス部門」運営開始
 いきいきセンター「居住部門」入居開始
 老人福祉施設(小沢体育館、ふれあいセンター、
 いきいきセンター)総合落成式挙行
 1997年 9年 レーザー波で糖度を測定する国内初の
 メロン集出荷選果施設完成
 かかし古里館第2展示室オープン(旧幌似小学校の修復)
 総合行政システムコンピュータによる住民票発行開始
 1998年 10年 前町長、駒場剛太郎氏を4人目の名誉町民に決定
 メロン集出荷選果施設の共同利用を契機に銘柄を
 「らいでん」に統一
 一等米比率過去最高を記録(92.38%)
 1999年 11年 国営畑地かんがい事業完成
 37年の歴史をもつ町農業共済事業が後志農業共済組合へ事業承継
 「第6次振興建設計画(新長期総合計画)」
 10カ年計画(平成11年度～20年度)
 一連の作業が自動化されたJA発足のスイカ選果施設
 の内部改築工事竣工・稼働
 「西村計雄記念美術館」オープン
 2000年 12年 ゴミの分別収集を全町で実施
 公共下水道工事始まる
 農協合併が実現し「きょうわ農協」が誕生する
 2001年 13年 全国初の「原子力防災センター」が共和町に設置される
 故西村計雄氏の遺作5,208帖が町に寄贈される
 2002年 14年 町パークゴルフ場(マロニエコース)オープン
 創業以来27年続いた住友シボレックス工場が閉鎖
 「米穀調製貯蔵施設」完成(平成15年から稼働)
 特別養護老人ホーム「みのりの里 共和」が開所
 2003年 15年 岩宇4町村合併問題首長会議を設置
 所得調査委員会、40年の歴史に幕
 2004年 16年 きょうわ農協小沢事業所が56年の歴史に幕
 台風18号で農業施設等に甚大な被害
 2005年 17年 公共下水道が供用開始される
 共和町保健福祉センターオープン
 総合落成式(米穀調製貯蔵施設、特別養護老人ホーム
 「みのりの里共和」、保健福祉センター)が挙行される
 2006年 18年 火葬場の建て替え工事竣工、「共和町斎場」として供用開始
 小沢診療所の建て替え工事竣工、4月から供用開始
 共和町森林組合、47年の歴史に幕、ようてい森林組合と合併
 本町初のNHK夏期巡回ラジオ体操が行われる
 開基150年、合併50周年・町制施行35周年記念式典挙行

2007年 平成 19年 新共和町史発行
 後志管内16町村で行政事務を共同処理する後志広域連合設立
 全国植樹祭にご臨席の天皇皇后両陛下を迎えたレセプション
 いらいでんスイカを献納
 2008年 20年 ごみの有料化始まる
 北海道洞爺湖サミット開催に伴い、駐日フランス大使夫妻が
 西村計雄記念美術館を訪問
 2009年 21年 「第7次振興建設計画(新長期総合計画)」
 10カ年計画(平成21年度～30年度)
 73年余の歴史ある「住友金属鉱山株式会社国富事業所」が
 「住友金属電子株式会社」として新たな船出
 2010年 22年 小沢地区住民センター・小沢出張所が竣工
 子育て支援センター「どろんこ」オープン
 メロン集出荷選果施設改良工事竣工
 総合住民センター40年の歴史に幕、閉館となる
 2011年 23年 全国瞬時警報システム(J-ALERT)運用開始
 らいでんスイカ集出荷選果施設改良工事竣工
 大山祇神社遷座祭、執り行われる
 交通死亡事故ゼロの日600日、30年ぶりに達成
 2012年 24年 記録的な大雪、残雪が春遅くまで道端に
 生涯学習センターオープン、落成記念行事挙行
 教育委員会事務局が生涯学習センターへ移転
 2013年 25年 多目的公園「ふれあい広場はったり」オープン
 町のシンボル住友の大煙突解体69年の歴史に幕下ろす
 「らいでんメロン」中東歴訪の安倍首相がカタール要人に振る舞われる
 原子力災害時における住民避難支援に関する協定等を、
 留寿都村、洞爺湖町、社警町のホテル等と締結
 2014年 26年 一般国道276号「岩内共和道路」が開通する
 前田診療所建替
 北海道横断自動車道(共和～余市間)事業着手
 旧国富鉱業所大煙突モニュメント完成
 公共下水道事業、計画区域内事業完了
 2015年 27年 子ども・子育て支援制度スタート
 学校給食センター建て替え工事竣工
 合併60周年・町制施行45周年を記念して諸行事実施、記念式典挙行
 住友金属電子株式会社材料部門で世界シェア40%を目指し生産増強



町章
 上部に「共」の文字をデザイン
 化、下部の円形は「和」を示す
 ものです。さらに、「共」の文字
 には3地区の住民が共に力を
 合わせて未来を切り拓く姿を、
 円には共和の肥沃な大地と住
 民の和によって力強く発展す
 る姿を重ねています。